

臨床心理室

松本 準

展望

2014年は臨床心理室創設から2年目の年であり、依頼件数・延心理面談件数共に増加したことから、臨床心理室における援助が院内外において一般化してきていることが認識された1年となりました。活動内容としては、心理面談・心理検査・心理アセスメント・コンサルテーション・地域援助と多岐に渡り、院外からの依頼講演もあり、開けた心理援助が行われたと考えております。

特に、臨床心理室単独での依頼や身体疾患の加療が終了した入院・外来患者への継続的なフォローが増加したことが、心理援助に対するニーズとその意義を強めていると考えられます。加えて、精神科との連携におけるフォローアップも行われており、より全人的な援助が可能になってきていることが実感されております。

今後の援助として、より広範囲で垣根のない心理援助のあり方を構築し、Dr・Ns・診療支援部、事務部との連携を強化していくことで、厚みのある援助体制を創造していきます。

また、件数の増加と共に迅速な援助が困難になることがないように、質を保持しながらもより生産的な援助を行っていくことで患者利益に寄与していくことが課題になっていくと考えております。

臨床心理室の存在が定着し、地域の方々により良い医療を提供できることが目標です。

実績

- ・新規依頼件数 164件
- ・延心理面談件数 1,553件

学術実績

学会参加・発表

- 1) 松本準. 心理臨床学会, 横浜, 2014, 8.
- 2) 松本準. 意識消失発作を繰り返した思春期女性の症例, 法政臨床心理の会, 2014, 3.

講演会

- 1) 松本準. 日常生活に活かす心理発達とコミュニケーション～病気との付き合い方～. 公開医療講演.
- 2) 松本準. 心理支援. PEACE、緩和ケア研修会, 講師.